

実施内容	高濃度注射用カリウム製剤のシリンジポンプによる投与
使用する医薬品の名称	KCL 注 20mEq キット 20mL アスパラギン酸カリウム注 10mEq/10mL キット
診療科	救命救急部門、循環器内科、心臓血管外科、手術部門
対象者	ICU、手術室において低カリウム血症の補正の緊急度が高く、且つ水分制限が必要な患者
承認日	2025 年 12 月
承認期間	永続的
概要	高濃度注射用カリウム製剤は、急速静注により不整脈や心停止を起こすことがあるため、通常、輸液に加注して点滴静脈内注射として使用します。添付文書においては 40mEq/L 以下に希釈し 20mEq/hr を超えないこと、1 日 100mEq を超えないこととされています。しかしながら患者さんの状態によっては速やかなカリウムの補正が必要であるが、輸液量にも制限がある場合もあります。そのような患者さんには高濃度のカリウム製剤をシリンジポンプを用いた投与を行う必要があります。
対策	高濃度のカリウム注射を行うことで、予想以上に血清カリウム値が上昇することがあります。また、シリンジポンプの位置により薬液が勢いよく流れて（サイフォニング現象）急速に投与される危険もあります。その場合、不整脈や心停止を起こすことが有りますので以下のような安全対策のうえ実施します。 ① 原液投与はしません ② 静脈炎予防のため中心静脈から投与します ③ 投与速度は 20mEq/hr 以下とし表示を確認してからスタートします ④ シリンジポンプの使用は手術室、ICU 病棟に限定します ⑤ 必ず医師の監視下におきます ⑥ 心電図モニターを装着します ⑦定期的に酸・塩基平衡と血清カリウム値のモニタリングを行います 異常が認められた場合は速やかに減量もしくは中止し適切に対処します。
問合せ先	京都第二赤十字病院 各診療科 TEL：(075) 231-5171 (代表)

実施内容	高濃度注射用カリウム製剤の投与
使用する医薬品の名称	KCL 注 20mEq キット 20mL アスパラギン酸カリウム注 10mEq/10mL キット
診療科	救命救急部門、手術部門ほか各診療部門
対象者	低カリウム血症によりカリウム補正の緊急度が高い患者
承認日	2025 年 12 月
承認期間	永続的
概要	高濃度注射用カリウム製剤は、急速静注により不整脈や心停止を起こすことがあるため、通常、輸液に加注して点滴静脈内注射として使用します。添付文書においては 40mEq/L 以下に希釈し、速度は 20 mEq/hr を超えないこと、1 日 100mEq を超えないことと記載されています。しかしながら状態によってはカリウムの補正が必要であり、濃度や速度を遵守して持続投与しますが、カリウム値によっては 1 日総量が結果として 100mEq を超える場合もあります。
対策	高濃度のカリウム注射により、予想以上に血清カリウム値が上昇することがあります。その場合、不整脈や心停止を起こすことが有りますので以下のような安全対策のうえ実施します。 ① 静脈炎予防のため中心静脈から投与することを考慮します ② 投与速度は 20mEq/hr 以下を確認します ③ 定期的に血清カリウム値を測定します。 尚、異常が認められた場合は速やかに減量もしくは中止し適切に対処します。
問合せ先	京都第二赤十字病院 各診療科 TEL : (075) 231-5171 (代表)